

家庭菜園相談室

今月の
テーマ

採りたてを生かじり、 スイートコーン



トウモロコシの中でも、特に甘いのがスイートコーン。しかし、収穫してから時間が経つと糖分が分解され、急激に甘みが薄れていきます。スイートコーンは、採りたてを食べられる家庭菜園ならではの野菜です。

図1 作型目安

品 種		4月	5月	6月	7月	8月	9月
スイートコーン	ゴールドラッシュ (サカタ)	●	●				
	おひさまコーン (タキイ)		▲	▲	★	■	

● 播種 ▲ 中耕・除草・土寄せ ★ 除房 ■ 収穫

栽培のポイント

● 品種は、1つだけ選んで栽培しましょう。

トウモロコシは、違う品種の花粉が付くと違う親の形質が実に現れます。

例えば、黄色い粒の品種のそばに白い粒の品種を作ると黄色と白の粒が混じったものができてしまいます。これをキセニア現象といいます。

● 黒糸でカラスの食害を防ぎましょう。

カラスなどの食害を防ぐため、実がふくらみ始めたトウモロコシ(雄穂)の真上と実の付いている付近に、黒い木綿糸を張るとよいでしょう。カラスは賢いので、上からだけでなく、横からも狙っています。

畑の準備：種まきの1カ月前に苦土石灰150 $\frac{g}{m^2}$ を施して、深さ30 $\frac{cm}{m^2}$ 位までよく耕します。
種まきの1週間前には堆肥2 $\frac{kg}{m^2}$ と化成肥料(N:P:K=8-8-8)200 $\frac{g}{m^2}$ を施し、よく耕します。

栽植密度：畝幅100 $\frac{cm}{m^2}$ 、高さ10 $\frac{cm}{m^2}$ 、株間30~40 $\frac{cm}{m^2}$ 、条間70~80 $\frac{cm}{m^2}$ (2条植え)黒マルチを敷きます。

種まき：移植栽培の場合は、2号ポット(直径6 $\frac{cm}{m^2}$)に深さ2 $\frac{cm}{m^2}$ の穴を開け、タネを2粒播きます。本葉が2~3枚になったら畝に植え付けます。トウモロコシは、直根性なので植付けが遅れると植え傷みがひどくなるので、適期に植え付けましょう。
直播栽培の場合は、深さ2 $\frac{cm}{m^2}$ の穴にタネを2~3粒播き、土をかけ軽く手で押さえ水をかけます。
種まき後は、鳥害と乾燥を防ぐため、発芽が揃うまで不織布をかけておくといよいでしょう。
トウモロコシは、風によって受粉します。1列植えただけでは、実の入りが悪くなるので、必ず複数列作付けするようにしましょう。

間引き：本葉が3~4枚で1本になるように間引きます。間引くときは、引き抜かず、地際の茎をハサミなどで切り取ります。

追肥：本葉が5枚の頃と、雄穂が出る頃の2回、NK肥料(N:P:K=14-0-14)を各回20 $\frac{g}{m^2}$ 程度施し、中耕、土寄せをします(マルチを敷いている時は、その上から肥料を撒いてもよいです)。土寄せは、倒伏防止の効果があります。

除房：雌穂は、一本の茎に2~3個付きますが、雌穂の絹糸が出始めた頃に、最も大きくなる最上部の雌穂1本を残し、他は小さいうちにかきとります。この時に茎や葉を傷めないように注意します(かき取った未熟な実は、ヤングコーンとして食べることができます)。

病害虫：トウモロコシの代表的な害虫と言ったらアワノメイガです。幼虫は、雄穂を食害したあと、雌穂に移動して実を食い荒らします。防除するには、雄穂が出始めた時と雌穂が出始めた時に殺虫剤を散布します。農薬を使いたくないときは、雌穂が出揃って受粉が終わったところに、雄穂を切取ってしまう方法もありますが、完全に防除はできません。

収穫：収穫は、雌穂の絹糸が茶色くなってきたら収穫適期です。収穫が遅れると粒の先が萎びて糖度も落ちてしまいます。適期を逃さず、早朝気温の低いころに収穫し、皮をむいて、生で思いっきりかじってみましょう。

家庭菜園に関する相談は、営農経済センターのTAC(タック)までご連絡ください。